

授業科目名・形態	在宅ケア実習 実習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	石川セツ子・工藤智美・黒沢繭子	実務経験の有無	有	開講期	3年前期・後期

### 【授業の主題】

1. 地域社会において、在宅で療養・生活している人々とその家族を対象に、QOLを重視した療養生活・日常生活の支援活動の実際を学ぶ。
2. 地域・在宅看護における保健・医療・福祉サービスの連携や地域ケアシステムの実際を学ぶ。
3. 在宅看護活動の実際や継続看護の必要性和多職種連携について学ぶ。
4. 個々の対象の特性に応じた支援に必要なサービスの活用や、ケアマネジメントの実際について学ぶ。
5. 多様な場で様々な健康レベルの人々を対象とした、施設での実習により介護予防について学ぶ。

### 【到達目標】

1. 在宅で療養・生活している人々とその家族を支援する施設の組織と役割について理解できる。
2. 在宅で療養・生活している人々と、その家族の生活・健康の諸問題、療養・生活している人々および家族に対する支援活動の実際について理解できる。
3. 在宅看護の実際、継続看護について理解できる。
4. 在宅ケアマネジメントおよび社会資源の活用について理解できる。
5. 地域包括ケアシステムを基盤とした、多岐にわたる場（介護予防の市民活動の場等）で、介護予防について学びを深めることができる。

### 【授業計画・内容】

1. 施設の組織と役割・事業概要
2. 在宅で療養・生活している人々と、その家族の生活状態・健康状態及び家族支援
3. 地域の社会資源・活用状況
4. 在宅看護と多職種連携および活動内容
5. 退院支援と退院調整及び担当者会議等への同行体験
6. 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問通所介護事業所、訪問介護事業所等の業務の役割と実際

※詳細は実習オリエンテーションにて提示する。

### 【授業実施方法】： 臨地実習

【授業準備】：訪問看護、在宅ケアに関連するサービス、関係法規などの①事前学習ノートと②初日分の実習目標を記載した記録を実習開始前の指定の日時までに教員へ提出し確認してもらう。

【主な関連する科目】：在宅ケア論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】：石垣和子・上野まり編集：在宅看護論 自分らしい生活の継続をめざして、南江堂、改定版（2020.3版）

【参考文献】：必要時配布します。

【成績評価方法】：①実習中における実習指導者や教員による評価（実習中の姿勢や態度・行動等）や、日々の記録のコメント、反省会・カンファレンス等での発言・発表）50%。  
②在宅ケア実習評価表（自己評価・教員評価）50%。

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

1. 訪問看護の運営業務や在宅ケアマネジメントの実務経験を活かし、実習中の指導に当たる。
2. 実習で理解不足や疑問がある場合は、学内カンファレンス等で質問を受け、さらに理解が深められるような説明を加え、学生同士が活発に意見交換でき振り返り学習ができるカンファレンスにしたい。

### 【学生へのメッセージ】

1. 在宅・施設サービスの実習となりますので、特に同行訪問による実習時には、個々の基本的なマナーをしっかり守りましょう。
2. 在宅ケア実習の自己学習課題について、しっかり事前の学習をしてから実習しましょう。
3. 実習での学びをとおして、疑問や分からないこと等は、積極的に指導者へ質問し理解を深めましょう。
4. 主体性を持ち、やりがいと達成感のある実習を体験しましょう。